

# うちなだ 議会だより

Vol.155

令和5年(2023)

11月6日発行



## 高校生等の通学支援 9月会議

..... 2

## 委員会レポート

..... 3 - 4

高校生等への通学支援給付金 電車等の交通手段を問わず支給  
サイクリングターミナル 繁忙期の宿泊料改定に注意点  
コミュニティバス相互乗り入れを検討せよ

総務産業建設常任委員会  
文教福祉常任委員会  
決算特別委員会

姉妹都市羽幌町・友好都市猿払村を親善訪問

..... 6

## 一般質問 8人が登壇

..... 7 - 15

街かどインタビュー (内灘高等学校生徒会の皆さん)

..... 16



補正予算  
注目事業を  
ピックアップ

# 高校生等の 通学支援に460万円

## くらし

道路施設の復旧を図る  
工事請負費 2100万円

道路維持管理費 750万円

照明・街灯球切修繕 100万円  
街路樹管理委託料 400万円  
道路施設等管理委託料 250万円

価格高騰重点支援給付費  
420万円

予算を上回る申請が見込まれるため、  
3万円×140世帯分の増額補正。

融資にかかる利子補給金  
50万円

支障が生じている中小企業の経営安  
定を図るための増額補正。

新エネルギー・省エネルギー  
システム設置費補助金 50万円

申請件数が当初の見込を上回ったこ  
とによる増額補正。

公的病院等運営補助金  
1億円

対象病院：金沢医科大学病院  
地域医療を安全かつ継続的に確保す  
るため、救急医療や周産期医療の運  
営に係る補助金を増額補正。

## 子育て

高校生等通学支援事業（新規）  
460万円

6,000円（6カ月分）×750人  
令和5年10月1日から全高校生等の保護者  
に対し支援

子ども医療費助成 2000万円

フッ化物洗口事業 18万円

学校給食に特殊栽培米 3万円

化学合成農薬の使用量削減で生産された特  
別栽培米を学校給食で提供する取組への負  
担金を増額する。

### 条例の改正

内灘町サイクリングターミナル条例の一部を改正する条例

物価高騰による運営コスト増加に対応するため、繁忙期  
等において柔軟に料金設定をできるように所要の改正を行う。

内灘町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定  
める条例及び内灘町特定教育・保育施設及び特定地域型保  
育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する  
条例

条文中の「厚生労働大臣」を「内閣総理大臣」に改める。

内灘町火災予防条例の一部を改正する条例

喫煙箇所の表示方法変更のため、所要の改正を行う。

## 人事案件

（全員賛成）

### 教育委員会委員



（再任）  
定免 邦幸氏  
（70歳）  
鶴ヶ丘氏

### 監査委員



（新任）  
岡崎 裕介氏  
（60歳）  
ハマナス氏

令和5年9月会議は9月5日から20日までの16日間開催され、令和5年度補正予算4件、条例の改正3件、人事案件など計10議案、令和4年度一般会計歳入歳出決算など決算認定7件を審議し、全て原案のとおり可決・同意・認定した。また、議会議案として「決算特別委員会の設置について」、「少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について」を可決した。

金曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日の前日及び繁忙期（3月20日から4月7日まで、4月29日から5月5日まで、7月20日から8月31日まで及び12月25日から1月10日まで）に宿泊する場合は、現在の規定の上限額に、100分の150を乗じた額の範囲内での料金設定が可能となる。

# 総務産業 建設常任 委員会

## 高校生等への通学支援給付金 電車等の交通手段を 問わず支給

◎恩道正博 ○西尾雄次 南 守雄  
中川 達 磯貝幸博 中村 聡

9月の委員会では、令和5年度一般会計補正予算や令和5年度水道事業会計補正予算など2つの会計の補正予算等の審査が行われた。

一般会計補正予算は、高校生等への通学支援給付金や7月豪雨によるがけ崩れ復旧工事に関するものが主なものであり、水道事業の補正予算は上下水道料金審議会の委員報酬の補正が主なものであった。また、コミュニティバス北部ルート時刻表の一部改正について進捗状況が審議された。

**問** 交通運賃の引き上げに伴い計画されている高校生等への通学支援給付金の支給対象者は。

**答** 令和6年1月1日時点で住民基本台帳に記載されている高校生等の保護者を対象とするもので、12月中旬に案内文書を郵送する。申請の際には学生証の写しを添付してもらう。

今般の給付金は、北鉄浅野川線の運賃値上げを契機としたものだが、物価高騰対策も踏まえ、電車・自転車等の交通手段を問わず、高校生等のいる家庭全般を支給の対象とするものだ。

## 7月の豪雨災害に伴う「災害復旧工事」の範囲とはどこまでを指すのか。

**問** 7月の豪雨災害に伴う「災害復旧工事」の範囲とはどこまでを指すのか。

**答** 崩れたがけが個人の所有地ならば、原則として、土地所有者が行い、国の災害復旧工事の対象にはならない。なお、このような個人所有地のがけ崩れ箇所に対応については、近隣自治体の状況を確認する。

**問** 買い物時間を10分間長くできるコミュニティバス「北部ルート」時刻表の見直しはいつ頃になるのか。

**答** コミュニティバス「北部ルート」時刻表の見直しはいつ頃になるのか。地域公共交通協議会での審議、運輸局への届出、バス停時刻表の改正等があるが、早ければ年内に見直し可能。



白帆台コンビニ前のがけ崩れ

# 文教福祉 常任 委員会

## サイクリングターミナル 繁忙期の宿泊料改定に注意点

◎清水文雄 ○土屋克之 夷藤 満(欠)  
北川悦子 生田勇人 川口正己(欠)

9月委員会では内灘町サイクリングターミナル条例の一部を改正する条例(宿泊料改定)など、8月委員会では内灘中学校の新制服などの審査をした。

**問** 繁忙期のみ1.5倍の料金表だが、学校の合宿に対する補助金(割引)はあるか。これまで利用していたらいてる学校関係者に配慮してもらいたい。

**答** 助成制度等はないが検討する。また、改正後の料金表は上限であり、料金表の範囲内で柔軟に対応したい。

## フッ化物洗口

(フッ素配合洗口液による虫歯予防)

**問** 今回の補正予算で対象となる保育所等はどこか。

**答** 町立保育所2カ所と、私立は既に行っている千鳥台幼稚園、今後事業を予定している向陽台保育園の2カ所だ。

## ラッピング電車

**問** いしかわ百万石文化祭2023の二環として、粟ヶ崎遊園のデザインによるラッピング電車が運行されるが、運行時間は決まっているのか。

**答** 2両1編成の車両1組をラッピングする。運行時間を決めることは難しい状況だ。



“乗ってみたいし、撮ってみたい”

## 内灘中学校の新制服

**問** なぜ新制服が必要なのか。

**答** 機能性や防犯、ジェンダー平等の実現に向けた対応、LGBTQ+への配慮などのため。

決算特別委員会

コミュニティバス相互乗り入れを検討せよ

◎中川 達 ○中村 聡  
清水文雄 生田勇人 土屋克之

9月13日  
～15日



用途がたった旧浜茶屋撤去

どうなった？令和3年度決算に対する指摘事項

- ・内灘海岸賑わい創出のため旧浜茶屋撤去の方向性を早急に出すべき  
→内灘海水浴場における不法占有物件の撤去については、令和5年1月に町長、地元県議、町議会並びに町会長などの関係者で馳知事に対し、早期撤去を求める要望を行った。現在、県において撤去にむけた手続きを行っていると聞いている。
- ・自主財源を確保し、自立度の高い財政構造を構築せよ  
→定住促進施策や企業誘致を推進し、税収増を図るとともに、使用料等の見直しを行う等、自主財源の確保に努める。
- ・土地開発公社で先行取得した用地に係る事業の進捗を図れ  
→用地取得に向け、引き続き粘り強く交渉し、事業の進捗を図っていく。また、土地開発公社のあり方については、国補助事業採択による町財政負担の軽減や低金利などの社会状況等を考慮に入れ、検討していく。
- ・給食センターの早期改築を検討せよ  
→令和5年度予算において、給食センターの基本調査を行う。調査では、事業手法や建設地など、子どもたちの安全を第一に考えて検討していく。また、財源の検討を踏まえ、町全体の優先順位の見直しを検討する。
- ・ふるさと寄付金の返礼品は創意工夫すべき  
→令和4年度以降、北陸鉄道関連グッズや能登牛など既存返礼品の拡充を図るとともに、新たに和栗モンブラン・アイスクリームケーキ・指輪制作体験などを返礼品に追加する。今後も事業者の協力を得ながら、町の特色を活かした魅力的な返礼品を選定・拡充するとともに、専門サイトの追加など周知にも注力するなど、創意工夫に努めていく。
- ・光ファイバー回線網の利活用を推進せよ  
→高度無線環境整備により整備された機器を活用し、役場庁舎及び町文化会館の一部にWifi環境を整備した。
- ・老朽化した消雪装置を計画的に改修すべき  
→毎年行う点検により、老朽化・機能低下が判明した消雪設備については、国補助要望を行い、順次更新していく。
- ・子どもたちに中国語に触れる機会を設けるべき  
→現状では、中国語をカリキュラムに入れることは難しいが、総合的な学習において、他国の文化や伝統、習慣など国際理解を深める学習の中で、中国語に触れる機会を設けることについて検討を進めている。

令和4年度決算に対する指摘事項

1. 隣接する市町への公共交通を確保せよ  
内灘駅から宇野気駅行きの北鉄バスが廃止され、隣接するかほく市への公共交通が途絶えた。コミュニティバスの相互乗り入れ等について、かほく市、金沢市をはじめ隣接する市町・その他関係機関に積極的に働きかけていくべきである。
  2. 風力発電施設の方向性を早急に出すべき  
風力発電施設が停止して、長期間経過している。毎年の維持費もかさんでいることから、早急に結論を出すべきである。撤去するにしても、概算で約4億円という膨大な費用を要することから、極力費用が少なくなるような工法等を検討すること。
  3. 海浜美化を強化せよ  
内灘海岸を訪れる人が外国人をはじめ増えている。一方で海岸は、砂浜が沖合に延び、目につくゴミが増えている。必要な予算を確保し、海浜美化を強化すべきである。また、観光で訪れた人たちが「休むための」ベンチの設置も検討すること。
  4. 海岸、放水路、サンセットブリッジ内灘のライトアップなどを一体的に考えて整備計画を策定せよ  
内灘海岸での旧浜茶屋撤去の用途がたち、また放水路では防潮水門の工事が進行中である。一方、サンセットブリッジ内灘のライトアップ設備の更新の動きはない。海岸賑わい創出、放水路周辺回遊空間整備、サンセットブリッジライトアップ事業などを一体的に考えた整備計画を早急に策定すべきである。
  5. 持続可能で健全な財政運営のために、地方債は財政状況を鑑み計画的に発行すべき  
新図書館建設、内灘駅周辺整備事業など、各種大型プロジェクトの構想があるが、地方債の発行については、過度な将来負担を招くことのないよう、実質公債費比率・起債残高の推移の見込などを鑑み、計画的に発行し、持続可能で健全な財政運営に努めるべきである。
- その他
6. 投票率向上のための施策を検討せよ
  7. 河北潟の水質浄化を進めよ
  8. 地域おこし協力隊の活動は、産業の振興や定住の促進など、具体的成果につなげよ
  9. 防災士と消防本部・消防団との連携を図れ
  10. 文化会館施設の稼働率を上げる工夫をすべし
  11. 正規職員205人に対し、非正規職員が226人。正規職員の割合を増やすべき
  12. 教育に係る予算の拡充を図るべき



令和4年度内灘町決算の概要は、10月発行の「広報うちなだNo.729」をご覧ください。

# 意見書の提出

可決

議会議案第6号  
**少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書**

◎提出者 生田勇人  
 ◎賛成議員 清水文雄 恩道正博

要旨

ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するために、中学校・高等学校での35人学級の早期実現、教職員の定数改善等を求めるもの。

# 請願の審査

継続審査

健康保険証廃止の中止等を求める意見書採択の請願書

◎請願者

石川県社会保険推進協議会  
 代表委員 松浦健伸  
 ◎紹介議員 北川悦子

要旨

健康保険証の廃止により健康保険証を持たず、保険診療を受けられない人が生じないように、健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一体化について、中止を含め見直すよう要望する意見書提出を。

# 討論

## 9月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	中村聡	土屋克之	西尾雄次	磯貝幸博	七田満男	川口正己	生田勇人	恩道正博	北川悦子	夷藤満	清水文雄	中川達	南守雄
議案第45号	監査委員の選任につき同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	-	欠	○	○	○	欠	○	○	○
議案第46号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	-	欠	○	○	○	欠	○	○	○
議案第47号	令和5年度内灘町一般会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第48号	令和5年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第49号	令和5年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第50号	令和5年度内灘町水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第51号	令和4年度内灘町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第52号	内灘町サイクリングターミナル条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第53号	内灘町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び内灘町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第54号	内灘町火災予防条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
議会議案第5号	内灘町議会決算特別委員会の設置について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
議会議案第6号	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
認定第1号	令和4年度内灘町一般会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
認定第2号	令和4年度内灘町新エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
認定第3号	令和4年度内灘町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
認定第4号	令和4年度内灘町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
認定第5号	令和4年度内灘町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
認定第6号	令和4年度内灘町水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
認定第7号	令和4年度内灘町下水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	○	○	○
請願第1号	健康保険証廃止の中止等を求める意見書採択の請願(※継続審査に対する賛否)		継続審査	○	○	○	×	-	○	○	○	×	欠	○	○	○

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、-は採決に加わらない

町会区長会との  
**意見交換会**  
 令和5年8月23日

町会区長会からの「ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた町の魅力度アップに向けた提案」を受け、議会からその状況を説明し、検討を約束した。

提案

- ・ 新図書館に眺望室等を設けること。
- ・ 子育て世代に安心して遊ばせることができる屋内遊技場を設置すること。
- ・ 自転車の町を標榜するようなフリースタイルバイク(自転車)競技場を設置すること。
- ・ 町施設にフリーWifiを設置し、町公式LINEの登録者数を増やし、行政サービスの向上を図ること。
- ・ 5G等の高速通信時代を見据え、町公式YouTubeチャンネル等を充実させ、魅力ある情報発信に繋げること。

明治以来の出稼ぎ漁の繋がりにから内灘町には北海道に姉妹都市（羽幌町）と友好都市（猿払村）があります。内灘町議会では、コロナ禍明けの本年7月に両町村を公式訪問しました。

両町村とも海産資源が経済でかなりの位置を占めているため、中国による全面的な禁輸措置は大きな打撃となっています。内灘町民として消費拡大に何らかの形でお役に立ちたいものです。

姉妹都市

# 北海道羽幌町



明治以来のニシン漁の関係から、羽幌町には多くの内灘漁民が出稼ぎ漁に出かけていました。

その後、漁業関係者で羽幌町に移り住む人たちが多くいたことから相互交流が始まりました。昭和55年には「姉妹都市提携」をして交流を重ね今日に至っています。

羽幌町では総合体育館や武道館、海鳥センターや見事なバラ園などの施設を視察しました。また、地域のボランティアグループが運営している広大なビオトープなどでも大きな学びを頂きました。

令和5年7月26日～29日 **親善訪問**

# 北海道猿払村

友好都市

猿払村では明治以来、出稼ぎ内灘漁民によるホタテ漁場の開拓が盛んに行われていました。その後、猿払村に移り住んだ内灘漁民が多くいたことから相互交流が始まりました。平成27年には「友好都市提携」をして交流を重ね今日に至っています。

猿払村ではホタテ貝の生産工場を訪れ、猿払村の年間予算額を上回ると言われる多額の漁業収入の現場を視察しました。また、新しい産業として力を入れているイチゴ栽培現場でも説明を受けました。



# 町政も問う

## 8人が登壇

### 一般質問 (9月7日)

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の問題点・疑問点・課題などを執行機関に問うものです。

1丁目の地域猫



会議録

**いそがい 磯貝 幸博** ..... 8  
・タイムライン（防炎行動計画）を公表を  
・中学生の自転車通学について 其他3問



YouTube

**みなみ もりお 南 守雄** ..... 9  
・大雨被害に対する迅速な対策を  
・被害状況の視察について 其他1問

**いくた はやと 生田 勇人** ..... 10  
・北部地区の危険なけ地解消について  
・豪雨災害復旧について

**つちや かつゆき 土屋 克之** ..... 11  
・ヘルプマークにサポート缶バッジを  
・ミライロIDとNET119緊急通報システムについて

**なかむら さとし 中村 聡** ..... 12  
・減災のため宮坂北線の早期着工を  
・完成模型を作成し回遊空間整備の周知を図れ

**にしお ゆうじ 西尾 雄次** ..... 13  
・带状疱疹ワクチン接種費用の助成制度創設を  
・大規模災害に備え地区防災計画の策定を

**きたがわ えつこ 北川 悦子** ..... 14  
・住宅リフォーム助成制度の拡充をはかれ  
・平和教育の今を問う 其他1問

**しみず ふみお 清水 文雄** ..... 15  
・コンフォモール内灘を道の駅に  
・「内灘闘争」DVDを一般公開せよ 其他1問

題字 上野雅子さん(西荒屋)

上

ノラ

年齢不明 ♀

キジトラ 千鳥台

下

ちび太

約1歳 ♂

キジトラ 千鳥台



いそがい 磯貝 ゆきひろ 幸博

# 策定済のタイムラインを公表せよ

## 町長 県と協議し検討する

**問** 策定済みの※タイムラインを、災害後に再検証と改善ができるように議員や各町会、区会にある自主防災組織、防災士連絡会など、全ての関係者及び町民に公開せよ。

**答** 平成30年3月に策定したタイムラインは、予測可能な水害用であり、今回初の線状降水帯発生で予見が困難だった。公開は県と協議したい。



宮坂のがけ崩れ

**問** 七月一三日未明、避難所の開設が2か所だった理由は。また、被災者の対応に相談窓口を迅速に開設し、広く周知せよ。

**答** 大野川が氾濫危険水位に達したため流域地区に避難所を開設した。罹災証明や災害廃棄物の減免申請窓口は町ホームページや公民館で周知した。



津幡中学校の自転車置場

### 中学生の自転車通学

**問** 重い荷物を手に中学校まで1時間かけて通学する生徒がいる。自転車通学を可能にし、時間を短縮できれば多くの時間を有意義に過ごせる。これまで解禁されなかったのは一体どんな理由からか。保護者と生徒に対し、町でアンケートを実施し、自転車通学に対する認識を共有できないか。

**答** 内灘中学校では、自転車通学の是非を検討されてきたものの、保護者の理解や生徒の安全確保の観点から、これまで一度も実現していない。保護者と中学校が協議をかさね、保護者からの要望の機運が高まった段階で、まずはPTAが主体となってニーズ調査を実施して欲しいと考える。

### その他の質問

**問** 公民館を役場窓口に機能強化できないか。

**答** 専門的職員の配置や個人情報の管理等で課題があり難しい。

**問** 町民や旅行者が常時芸術作品を鑑賞できる、文化芸術通りの創造を。

**答** 文化芸術通りの必要性を探る必要がある。

**問** 日本海砂丘風の会の高齢化が顕著だ。より一層の支援を求めたい。

**答** 会員の負担も軽減できるように、職員配置の見直しを図っていく。

### ※タイムライン

#### (防災行動計画)

災害の発生を前提に、関係機関と連携して状況を共有した上で、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。





みなみ南 もりお守雄

# 大雨被害に対する迅速な対策を 対策計画取りまとめ予定 町長

## 一般質問



がけ崩れのあった県道（西荒屋）

**問** 7月12日夜間に発生した線状降水帯の影響により、内灘町でも土砂災害や道路の冠水などの甚大な被害があった。温暖化の影響もあり、今後も線状降水帯が発生し、大雨が降る可能性があるが、今回のような災害が起きないために、迅速な対策が必要だと思っが、町としてはどのような対策を考えているか。

**答** 県では、国や周辺自治体をメンバーとした河北郡市流域治水対策部会を設けた。町としては、浸水想定区域などの確認、国庫補助金等を活用した浸水対策なども検討し、流域治水における防災や減災のための対策内容について、11月をめどに計画を取りまとめていく予定である。

**問** 床上・床下浸水被害のあった西荒屋地区の住宅や事業所の視察について、町長は西荒屋の1軒の事業所に視察に来られたようだが、その他の被害に遭われた住宅や事業所の視察には来られなかった。被害に遭われたのは数軒なのに、なぜ全部を視察しなかったのか。

### 被害状況の視察

**答** 7月12日夜から13日にかけて町内のパトロール、14日に西田国土交通大臣政務官、15日の馳知事の被災地視察に同行し、被害の確認をした。個別の被害状況の確認について、私自行かなかったことに対し、配慮が足らなかったと感じている。今後は、本格的な災害復旧や治水対策に全力を尽くしていく。



床上浸水被害の事業所



私有地に流れ込んだ瓦

**問** 私有地に流れ込んだ、がけ崩れの土砂の撤去など復旧をどのように進めていく予定か。

**答** 国の補助金を活用するため、災害復旧事業の採択申請に向け、測量設計など準備を行っている。

### その他の質問



いた はやと  
生田 勇人

# 急傾斜地取得を実行せよ

## 町長 北部開発促進協議会と連携

**問** この度の豪雨災害では、砂丘急傾斜地で、どこでも崩落の危険性のあることが立証された。危険かけ地の解消には、安定勾配の確保と併せて町道幹8号宮坂西荒屋線と県道高松内灘線の道路改良整備が必要であり、防災上の責任と管理を考えたとき、所有者から町への**※寄附採納**による急傾斜地の取得を実行していかねばならない。



がけ崩れ直後（宮坂）

**答** 法面の多くは民有地と認識しており、安定勾配を確保した危険かけ地の解消及び道路を振り替える改良整備は、農業基盤整備も関係した地盤高や土砂の処理など多くの課題があるため土地所有者などの協力が不可欠だ。安心安全な暮らしを確保するため、北部開発促進協議会と連携して関係者に対し、意向調査を実施していきたい。

### 道路復旧・浸水冠水対策

**問** 7月豪雨が激甚災害に指定された。がけ地崩落による町道幹8号宮坂西荒屋線と県道高松内灘線の復旧の予定を聞く。

**答** 国の基準に従い申請作業を進めており9月末に災害査定を受ける予定だ。採択後は速やかに工事発注し来春の復旧完成を目指す。県道についても、県が同様に申請作業を進めている。

**問** 西部承水路住宅地側の築堤と、生活用水路合流部分に水門設備と排水機の設置による浸水・冠水被害防止の対策を取るべきだ。管理者である石川県に強く働きかけよ。

**答** 国と県、町も加わる河北郡市流域治水対策検討部会の中で、今後防災や減災のための効果的な対策を取りまとめいく予定となっている。



押し寄せた水（宮坂）

#### ※寄附採納

一定の条件を満たす財産を町に与える意思を表示し、町が受諾すること。



つちや かつゆき  
土屋 克之

# ヘルプマークにサポート缶バッジを 推奨したい 町長

## 一般質問



サポート缶バッジで安心を

**問** 耳の聞こえにくい方などが、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるため、その内容をイラストとして表現したサポート缶バッジを作り、ヘルプマークと一緒に付けたり、ヘルプマークなしの単独で付けたりすることを推奨する考えはないか。

**答** 耳が不自由な方は、外見から分かりにくい。

周囲の人から誤解を受けたり、時には不利益を受ける場合が考えられ、耳が不自由なことを周囲の人に知らせることは大変重要であると認識する。議員が提案のサポート缶バッジは、周囲の人に知らせる方法として有効であると考え、他の先進自治体で取り組んでいるヘルプシールなども参考にしながら、今後、推奨したい。

**答** 歴史民俗資料館のみだ。今後、展望温泉ほのぼの湯で使用できないか協議したい。

**問** ※ミライロードは全国3,800社を超える事業者が、確認書類として採用している。町においても幅広く活用することが望ましいと考えるが、町の公共施設などで活用できる場所はあるか。

## ミライロードの活用を



ミライロIDのデモ用画面

**答** システム開始当時、対象の88名の方に対して、文書にて案内した。また、新規の方は、手帳交付時に福祉課から説明している。現在、申請者12名の方と定期的に通報訓練を行っている。

**問** 続いて、※NET119緊急通報システムだが、どのように周知を図っているか、また何名の方が申請されているか。

**※NET119緊急通報システム**  
音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障がい者の皆様、円滑に消防への通報を行えるようにするシステム。

**※ミライロード**  
株式会社ミライロが令和元年7月から運用するスマホのアプリ。障がい者手帳を持ち歩く必要がなくなり、スマホの画面を提示することで、障がい者割引等を受けることができる。



なかむら  
中村

さとし  
聡

# 宮坂北線の早期着工を 町長 急傾斜地を解消する道路

**問** 防災計画を立て、自然災害に備えても、完璧に対応することは難しい。被災の手立てを講じておくことが大切。計画のある宮坂北線を実現していただきたい。土砂崩れが起きた場合の空間確保にも役立ち、県道が通行止めになった場合、緊急自動車が注回するバイパスとしても機能する。実現できれば、減災の効果も期待できる。



危険がけ地の解消を

**答** 宮坂北線は、急傾斜地を解消する災害対策にもつながる道路整備である。北部開発促進協議会と連携し、土地所有者などに整備協力に関する意向調査を行うことで、早期着工につなげたい。

## 放水路整備

**問** 内灘海岸・放水路回遊空間整備構想は現在、河北潟放水路防潮堰の工事が進められているが、古くから住む高齢者の方にとつて、放水路は大きな関心の的である。  
回遊空間の整備は、実現すれば賑わい創出に貢献する、特級の魅力になる。目で分かる完成模型を作り、広報周知を図っていただきたい。



夢が広がる放水路に

**答** 内灘海岸・放水路回遊空間整備構想は、年度内策定に向け検討委員会で議論を進めている。  
放水路の周辺整備と内灘海岸の賑わい創出、交流人口の拡大及び観光振興に直結する将来像を描くもので、この構想の中で、イメージ図を盛り込み町民にお知らせする考えである。完成模型やジオラマ等は具体化が進んだ段階で検討する。



ミツバちゃん



にしお ゆうじ  
西尾 雄次

# 带状疱疹ワクチン接種に助成を 令和6年度から助成開始へ 町長

## 一般質問



開始されるワクチン接種

**問** 带状疱疹は、子どもの頃に罹った水痘・疱疹ウイルスが体内に潜み、再活性化する病気で50歳を超えると発症率が高くなり、重症化すると後遺症が残る場合もある。近年では、ワクチン接種の有効性が明らかになり、そのワクチン接種に助成金を出す市町村が増えている。本町も接種に助成金を出す制度の創設を考えてはどうか。

**答** 国では带状疱疹ワクチンを新たな定期接種の対象疾病に定義することについて議論をしている。その中で今後もデータ収集を重ね、接種開始年齢などを引き続き検討するとしている。町では国の議論を見守ってきたが、罹患する人の重症化をある程度軽減できることなどから令和6年度からの助成開始に向け準備を進めたい。

**問** 7月12日夜間の4時間間に210mmもの記録的な豪雨が本町を襲った。この豪雨によって白帆台のコンビ二前では大きながけ崩れが発生した。白帆台の雨水は宮坂の住宅側に流さないとの団地づくりの基本的な理念からすればこれは「重大※インシデント」と認識すべきではないか。本町も地区防災計画を策定する考えはないか。

### 地区防災計画の策定



宅地に迫ったがけ崩れ

**答** 7月12日夜間に発生した豪雨は、午後9時から10時に掛けて100.5mmが計測される記録的な降雨となった。質問のがけ崩れはこの想定を超える大雨によるものだ。町では今後の異常気象に備えて、道路や水路の状況などを調査研究したい。地区防災計画の策定については、町会・区長会と協議しながら積極的に進めたいと考えている。

**※インシデント**  
出来事、事件、事象といったことを表す英語。  
それが転じて近年では、何らかの問題が発生してアクシデントになる一歩手前の状況。



きたがわ えつこ  
北川 悦子

# 助成工事対象額を引き下げて

## 都市整備部担当部長 考えはない

### 一般質問

**問** これまでの住宅リフォーム助成事業による工事額と経済効果、工事額の構成と工事分野を問う。

**答** 7年間実施（平成26年～）8月31日までの合計で、784件の申請があり、助成金の総額は約1億4,400万円、それに伴う工事額は約1億1,300万円、経済効果は約12億5,700万円に上る。



リフォームで安心・快適の住環境を

**問** 助成工事対象額を引き下げて住民に寄り添った事業に拡充できないか。

**答** 住宅リフォーム助成対象になる工事費については、総額50万円以上としている。住宅環境の向上と地域経済の活性化につながるという観点から、助成工事対象額を引き下げる考えはない。

### 平和を受け継ぐ

**問** 夏まつりに4年ぶりに、核兵器のない世界のために署名の願いをした。戦後78年、次世代へ伝え、学んでいくことが薄らいできている。

**答** 若い人たちが小中学生の多くの人たちに平和について考えてもらえるようなイベントをしていく必要がある。例えば夏休みを利用して、「原爆と人間展」や戦争体験の話、紙芝居はできないか。

**問** 戦争を経験していない世代が増えていく中、平和の大切さを理解し、平和な社会を築く態度を育む平和教育を充実させることは重要である。

**答** 「原爆と人間展」パネル展示は、より多くの小中学生に見ていただきたく、夏休み前に各学校でできる範囲内の展示ができないか検討する。イベント等は、実施したい団体に協力したい。

### その他の質問

**問** いしかわクールシエアスポットに熱中症注意お休み処ののぼり旗を。

**答** 周知に大変有効であり、実施主体の石川県に対し、のぼり旗の配布を要望する。



子らに核兵器のない世界を



しみず 清水 ふうみお 文雄

# コンフォモール内灘を「道の駅に」

## さらなる企業誘致を働きかける 都市整備部担当部長

### 一般質問



道の駅にできないか

**問** のと里山海道の出発点である千鳥台交差点に位置するコンフォモール内灘一帯を、「道の駅に」と以前より提案している。町のコンフォモール内灘への商業施設、企業等の誘致の現状とこれからの展望を聞く。

また、当該エリアは内灘海岸や金沢港からも近く、観光の誘客上、立地的に優位である。多くの方が訪れるような魅力的で利便性が高い店舗の拡充を進めていただくよう、町としてさらなる企業誘致を働きかけていく。

**答** 当該エリアにおける企業誘致を推進するために、内灘海岸・放水路回遊空間整備構想で海岸抛

**問** 6月11日に、町民等が主体になって内灘闘争70年記念事業「風と砂の記憶を紐とぎ紡いでいく」〜これからの内灘闘争〜が開催された。「内灘闘争」を次代の若い人たちにつないでいかなければならない。現在、風と砂の館で放映されている「内灘闘争」のDVDを一般に公開し、貸出しや学校での平和教育の教材に活用できないか。

### 風と砂の館の「内灘闘争」DVD一般公開を



内灘闘争70年記念事業



**答** 映像の著作権を持つ北陸放送との取決めで、風と砂の館の館内上映に加え、町立小中学校で行われる授業に限定して利用許可をいただいている。その他一般の方の利用は、個別に北陸放送の了承を得る必要がある。

### その他の質問

**問** 現行保険証を残してマイナ保険証と併用できるようにすることに對する町長の所見を聞く。

**答** 国は全ての国民が保険診療を受ける体制を目指している。国の方針に基づき保険証の切替えに係る事務を進めたい。

突撃!

# 街かどインタビュー

町づくりに若い感性を

町の団体シリーズ⑳

今回は、**内灘高等学校三年生の議会傍聴の後日、改めて9月13日、役場議会棟で生徒会の皆さんにインタビュー**しました。



左より 宇波真奈美先生、宮本あおい碧さん、みちがみ道上新香さん

◆議会を傍聴してみても。

○初めての体験で大変緊張した。

・私なりに、町が少しずつ変わっていくかを見ている。

・傍聴して町が抱える問題が分かって良かった。

◆内灘高校の今の推しは。

○運動部では、自転車部が頑張ってくれている。自転車内灘を全国に広めてくれた。また、アクピス部に力を入れている。

この部は、ビジネス検定に向けて個々のスキルアップの勉強に取り組んでいる。

◆町に直して欲しいところは。

○(上田さん) 駅前コンビニエンスストアがほしい。(水瀧さん) 違う種類のコンビニエンスストアがほしい。

(道上さん) 休日に牧場に行きたくても行けない。観光場所を結ぶバスがほしい。

(宮本さん) 北部の道路の街灯が少なく自転車通学が怖い。



左より みずたき水瀧さん、りゅうせい龍成さん、みづたき水瀧さん、りゅうせい龍成さん

◆町の賑わい創出への提案

○海岸に大きなブランコやハート型のオブジェなどを設置して、

写真コンテストなどを開催しても面白い。駅前には、外国人向けの説明文などが少ない。サンセットブリッジや、総合公園などにゴミが多い。町の人のモラルが問われる。

◆もし町長になったら。

(宮本さん) 町の自然の魅力を町民、町外の人達に伝えたい。町の観光スポットを応援したい。もっと海岸の魅力を発信したい。

(道上さん) 町の飲食店の魅力を伝えたい。

(水瀧さん) ゆっくりできる場所、人が集うカフェなどを作りたい。

(上田さん) 内灘の自然を大切に、人口増加に向けた施策を考える。

(宇波先生) 今までにない魅力あふれる新しい図書館が出来る、その周りに人が増えるのでは。



今回は、内灘高校の生徒の皆さんから貴重なご意見を頂きました。自分の意見を堂々と主張する姿は大変頼もしく感じました。

◆生徒会の皆さんありがとうございました。

インタビュー 中村 聡

お詫びと訂正

令和5年8月4日発行のうちなだ議会だより第154号2ページ13ページの表記に誤字がありました。左記のとおり訂正させていただきます。ご迷惑をおかけいたします。

2ページ 私立保育園運営負担金  
【誤】1525万円  
【正】153万円

13ページ 下段 答弁  
【誤】昨年度  
【正】令和2年度

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」と古くから言われているが、彼岸を過ぎても季節外れの高温が各地で記録され、長く続く真夏日の連続に多くの人々が悲鳴をあげた。もしかしたらこれは急速に進行している地球温暖化の危機的な状況に『宇宙船地球号』があげている悲鳴の木霊なのかもしれない。

昨今の気候変動の有様は、国連のグテーレス事務総長が欧州を襲った猛暑と豪雨を『これはもはや温暖化ではなく沸騰化だ』と評したように、温暖化よりもいっそう過激な沸騰化の様相を呈しながら進行しているようである。

それもあってか、本号でも地球「沸騰化」が真の要因と推察されるような7月豪雨が本町を襲った災害関連記事が多くを占めるに至った。

〔委員 西尾 雄次〕

広報対策特別委員会

- 委員長 中村 聡
- 副委員長 土屋 克之
- 委員 北川 悦子
- 委員 川口 正己
- 委員 西尾 雄次

